

# 市長就任のごあいさつ

## アシタのチカラ 高浜市の根っこをつくる 市民の皆さんと ともに進めます



高浜市長 吉岡 初浩

このたびの市長選挙におきまして、市民各位をはじめ、各方面からの力強いご支援、温かいご厚情を賜り、市政をお預かりさせていただくことになりました。

森貞述前市長におかれましては、高齢社会の到来や地方分権といった時代の流れをいち早く受け止め、常に先手を打つという姿勢で「持続可能な自立した基礎自治体」としての礎を築かれましたが、今日の高浜市があるのは、これまでの多くの方々のおかげで「労苦の賜物」によるものであると承知しております。皆さまから寄せられた負託の重みを厳粛に受け止め、改革の歩みを止めることなく、市政運営に最善を尽くす所存です。

私は、元は瓦製造に携わっていたこともあり、常に現場を大切にまいりました。市政運営にあたっても、まず現場である地域へ足を運び、市民の皆さまと対話をし、共に行動することをモットーとしてまいります。人口も経済も右肩上がりという時代は、終わりを告げようとしており、限られた資源を有効活用するために、選択・集中が求められています。「高浜市にとって本当に必要な施策は何か」を市民の皆さまと共に考え、「ご理解・ご納得をいただくながら市政運営を進めていくことが

不可欠だと考えています。景気の低迷、財政状況の悪化という逆境の今だからこそ、将来に向けての基礎づくりとして、アシタのチカラとなる「高浜市の根っこ」を創り上げていくチャンスであると考えております。

さて、選挙戦において掲げたローカル・マニフェスト、いわゆる政権公約は、今後4年間で取り込む、29項目にわたる政策目標と達成期限等について明記した、市民の皆さまとの「契約書」です。高浜市のアシタのチカラを築いていくための政策として着実に実行してまいります。

### 【目標① ツツケルチカラ】

パランスのある持続可能なまちをつくるための取り組みとして、将来世代にツケを残さず、必要なサービスを安定的に提供していくために、事業仕分け・行政評価の手法を活用します。

また、目的をもって整備された公共施設も、年月の経過や社会的意義、需要の変化に伴い、見直さざるを得ない状況となっていることから、「公共施設のあり方検討市民会議」を立ち上げ、施設を利用する市民の皆さまの立場から、今後のあり方を検討します。

### 【目標② ツナガルチカラ】

市民の皆さまと行政がより力

を発揮できるようにつなげる、そして市民の皆さまが自信と誇りを持てるまちをつくるための取り組みとして、住民自治に基づく市政運営を定めた「自治基本条例」を市民の皆さまを中心として策定します。

「市民予算枠」（個人市民税の5%）を設け、環境、土木、教育、福祉など、地域に直接関わる問題解決に向けて、市民の皆さまと協議、検討を加え、使途を決めていきます。

### 【目標③ ノビルチカラ】

地域が発展する根本は「人」です。活気があり、楽しく住めるまちをつくるための取り組みとして、「教育基本構想」や「生涯学習基本構想」を市民参画で策定し、子どもたち一人ひとりの才能や夢を育てる教育のあり方について研究するとともに、子どもから高齢者まで、誰もがより良い人生・充実した人生を送ることができるよう、「学習したい」、「活動したい」という想いを応援し、人づくりに力を注ぎます。

また、地場産業や中小事業者への支援制度の創設や、雇用機会を増やすため、優良企業の誘致を積極的に推進するとともに、チャレンジド\*の「働きたい」という自立への想いを支援します。

### 【目標④ ツツムチカラ】

誰もが安心して住み続けられるまちをつくるための取り組みとして、中学3年生までの子ども医療費無料化の実施や、多様化する保育ニーズに対応するため、事業所内保育施設などへの助成制度を創設します。長寿化に伴い増加している認知症への対応として、認知症グループホーム等の小規模な施設の整備を支援し、住み慣れた地域で暮らし続けられる基盤を整えていきます。障がいのある子どもへの育ちを、一生を通じて見守り、支援するための専門支援機関として、発達支援センターを整備します。

災害時などに全市をあげて迅速かつ総合的に対応するための危機管理体制の充実や、マンパワーを最大限に引き出し、地域の防災ネットワークの構築を進めます。

以上、今後の取り組みの一端を申し上げますが、いずれも市民の皆さま方のお力なくしては、成し得ることはできません。今後より一層のご指導、ご鞭撻を賜ることをお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

\*障がいを持ちながら挑戦するチャンスを与えられた人